

# 38 豪雪のときの現金輸送



昭和38年（1963年）1月の大雪で、北陸本線が3日間運休するなど、各地で交通機関がマヒしたそうです。

福井県では、必要なお金（当時で約1億5千万円＜全て千円券＞）が不足する事態となり、そのままでは生活に悪影響を及ぼす心配がありました。

そこで、**日本銀行金沢支店から職員数名がリュックサックに30キロものお札を詰めて12時間かけて福井まで運び、地域の皆様にお届けしました。**

こうした自然災害発生時にも、日銀金沢支店の職員は、経済の血液とも言われる「お札」がしっかりと北陸の隅々まで行き渡るよう、全力で業務に取り組んでいます。

【38 豪雪時の日銀金沢支店の写真】



【当時の田中角栄大蔵大臣から受けた賞詞】

